

令和8年3月26日  
住民課環境係

## 令和7年度八丈町ヤンバルトサカヤスデ調査結果について

**調査場所** 東京都八丈町（第1表および第1図参照）

**調査月日** 第1回目：2025年9月17日～19日  
第2回目：2025年11月18日～20日  
第3回目：2026年1月20日～22日

### 調査目的

ヤンバルトサカヤスデの発生量の予測および大量発生防止に向けて、島内生息個体数の調査を行った。

### 調査方法

- 生息密度調査：島内37か所の生息場所（腐葉土内）（第1表、第1図）におけるヤンバルトサカヤスデの発生状況および生息密度を調査した
- \*一部工事中で調査を割愛した地点がある。
- \*2025年10月の台風22号、23号の被害により、一部の調査困難な地点の調査を省略した。
- 2023年度より、調査は昼間のみとしている（夜間調査は中止）。

### 調査結果

- 発生概況
  - ・第1回目（2025年9月17日～19日／第2表）の調査では、生息が観察されたのが4か所と例年に比べ少なく、昨年よりも少なかった。発生総数で見ても昨年の2分の1程度の虫数であり、例年と比較しても少なかった。ここ数年の平均と比較し、発生量が少なかった理由としては、7～8月にかけて、昨年と同様に、降水量がそれ以前の過去数年に比べかなり少ないことが要因として考えられた。
  - ・第2回目（2025年11月18日～20日／第3表）の調査では少発生の傾向が継続しているが、発生地点数は9月に比べると増えており、昨年と比べても、発生総数では同程度とであった。昨年も例年に比べ発生量が少ない傾向であったが、長期間でみると減少傾向にあることが明らかとなった。特に大賀郷地区、三根地区では発生が認められない調査地点も多く、明らかに減少傾向であった。
  - ・第3回目（2026年1月20日～22日／第4表）の調査では、11月と比較して発生総数はやや増加していたものの、昨年と比較するとやや減少していた。発生地点数は11月よりやや増加していたが、昨年と比較すると同程度であった。

### ●月別発生状況（第2図）

1回目調査時には、腐葉土内での生息および発生が認められた観察地点は4ヶ所（11%）であった。腐葉土内で確認された個体は、83.7%が亜成体であった。

2回目調査時には腐葉土内での生息および発生が認められた観察地点は15ヶ所（54%）であった。集合はいずれの地点でも認められなかった。定点で観察された個体は100%成体であった。

3回目調査時には腐葉土内での生息および発生が認められた観察地点は17ヶ所（57%）であった。集合はいずれの地点でも認められなかった。定点で観察された個体の90.2%が成体であった。2回目と比較し、発生地点数、発生総数ともにやや増加傾向にあった。今後、発生状況は春に向けて終息に向かうものと思われるが、来年度に向けて発生動向には注意が必要と思われた。

### ●地域別発生状況（第2図）

腐葉土内に生息が確認された調査地点の割合は、いずれの月も坂上地区が坂下地区を上回った。極端にヤンバルトサカヤスデの発生が少なかった2019年度を除けば、2017年度の調査以降この傾向が継続している。

### ●調査個体の令構成（第3図）

2025年の気温は平年並みで推移したが令構成は例年と同様の傾向であった。

## 考察

### ●発生要因

昨年度は定点観測地点でのヤンバルトサカヤスデの発生確認の割合や総数が例年に比べて低かったが、7～9月の降水量が少なかったことが要因であろうと推測していた。そのため本年度については、降水量が平年程度であれば昨年以上の発生になる可能性があるかと推測していた。しかし、本年度は夏季の降水量が昨年と同様に平年をやや下回り（第4図）、この影響により、結果的には昨年と同程度の発生量となり、低水準の傾向が継続する形となった。

ヤンバルトサカヤスデの発生が低水準であった要因として、夏季の降水量の少なさに加え、群遊初期の薬剤による防除の徹底、落ち葉の除去および雑草の下刈り等でのヤンバルトサカヤスデの生息場所除去などが進んだことも挙げられる。年間の気温は平年並みに推移しており（第5図）、気温が発生の増減に大きく影響した可能性は低いと考えられる。

10月に発生し、島内に甚大な被害を及ぼした台風22号及び23号の影響については、明確ではないが、10月の降水量が昨年に比べ大きく増えたことにより、過剰な乾燥は抑制されたと考えられ、昨年より大幅に発生量が減ることを抑止したと推測される。

## 今後の予想

### ●来年度の発生予想

今年度 11 月の調査時点では定点調査地の 54%でヤンバルトサカヤスデの生息が認められ、1月の調査でも同程度であった。しかし、各地点の発生個体数自体は昨年同様少なかった。このことから島全体のヤンバルトサカヤスデの発生個体数は総量的に昨年度と同程度であり、発生量は低い水準のまま推移したと考えられる。そのため来年度は島全体でのヤンバルトサカヤスデの大発生の可能性は少ないと推測されるが、特定のエリアで限定的に大量発生する可能性はあり、注意が必要と思われる。

### ●発生源対策

早期の幼虫、亜成体による群遊の発生は、その地域のヤンバルトサカヤスデの密度が高まっている結果であると考えられる。幼虫、亜成体による群遊が認められた場合は、群遊個体の駆除、近隣地域の落ち葉の除去および雑草の下刈りなどを実施すると共に、その後の成体による大規模な群遊に結びつく可能性が高いので十分注意する必要がある。

本年度は、少雨傾向で発生量が少なかった昨年と同程度の発生量であったが、今後夏期の降水量に注意し、多発生に備えた対策に留意する必要がある。

### ●調査時期および方法

来年度の調査は 9 月中旬、11 月中旬、1 月下旬の 3 回の予定。

第1表 ヤンバルトサカヤスデ発生状況調査地点一覧

地点名	
1	尾越の水汲場跡周辺
2	末吉郵便局前(地点標23付近)周辺
3	みはらしの湯周辺
4	角尻川の橋(地点標122付近)周辺
5	名古の展望台牛舎壁面(地点標21付近)周辺
6	末吉～中之郷境(地点標19付近)周辺
7	しんのうやし雌雄原株周辺
8	地点標15付近周辺
9	えこ・あぐりまーと周辺
10	裏見ヶ滝遊歩道周辺
11	ザ・BOON周辺
12	ゴルフクラブ上周辺
13	乙千代ヶ浜手前道路周辺
14	檜立運動場周辺
15	團伊玖磨アトリエ周辺
16	ふれあいの湯周辺
17	人捨て穴入り口周辺
18	大坂トンネルの展望台(地表点4付近)周辺
19	為朝神社(地表点2付近)周辺
20	ふるさと村駐車場周辺
21	歴史民俗資料館裏周辺
22	ほたる水路トイレ周辺
23	火葬場周辺
24	国民宿舎 サン マリーナ周辺
25	水産試験場裏周辺
26	地点標57周辺
27	第一長の入橋(地点標60付近)周辺
28	釣り場オアサネ入口(地点標61付近)周辺
29	釣り場赤崎入口(地点標63付近)周辺
30	三根永郷分団詰所(地点標66, 67中間付近)周辺
31	八丈富士永郷線入口(地点標67付近)周辺
32	大越園地休憩舎周辺
33	地点標69周辺
34	地点標71周辺
35	地点標73周辺
36	地点標76, 77中間周辺
37	南原千畳岩海岸 車海老養殖場跡周辺

# 第1図 ヤンバルトサカヤスデ発生状況調査地点

地点標 69 周辺

大越園地休憩舎周辺

八丈富士永郷線入口周辺

三根永郷分団詰所周辺

釣り場赤崎入口周辺

釣り場オアサネ入口周辺

第一長の入橋周辺

地点標 57 周辺

水産試験場裏周辺

地点標 71 周辺

地点標 73 周辺

国民宿舎 サン マリーナ周辺

火葬場周辺

地点標 76,77 中間周辺

ほたる水路トイレ周辺

南原千畳岩海岸  
(車海老養殖場跡周辺)

歴史民俗資料館裏周辺

尾越の水汲場跡周辺

ふるさと村駐車場周辺

角尻川の橋周辺

為朝神社周辺

末吉郵便局前周辺

しのうやし雌雄原株周辺

みはらしの湯周辺

大坂トンネルの展望台周辺

人捨て穴入口周辺

ふれあいの湯周辺

名古の展望台牛舎壁面周辺

團伊玖磨アトリエ周辺

榎立運動場周辺

乙千代ヶ浜手前道路周辺

ゴルフクラブ上周辺

ザ・BOON 周辺

裏見ヶ滝遊歩道周辺

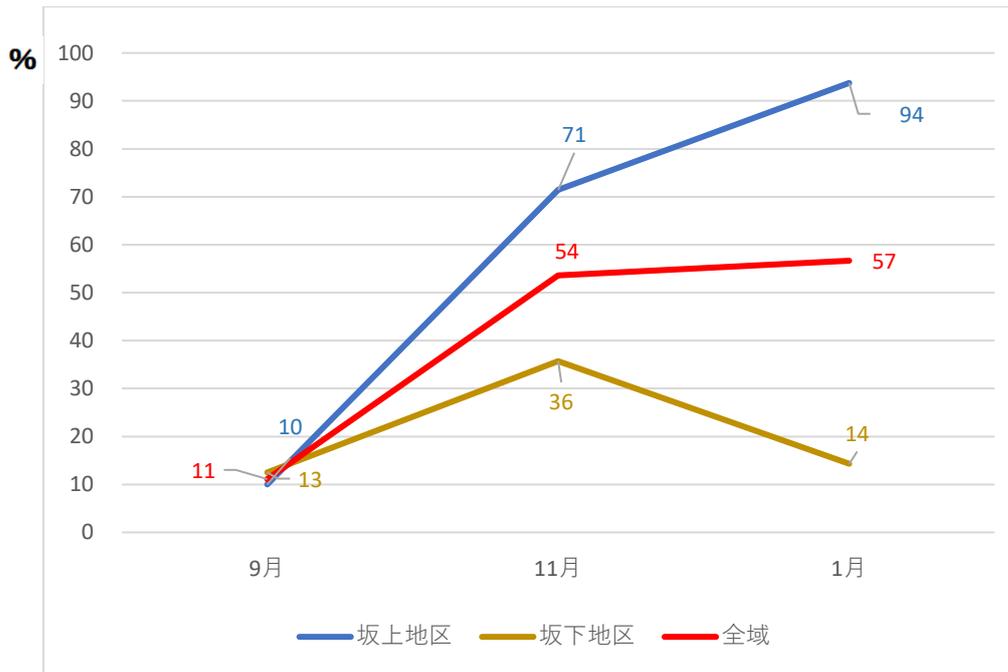
末吉～中之郷境周辺

えこ・あぐりまーと周辺

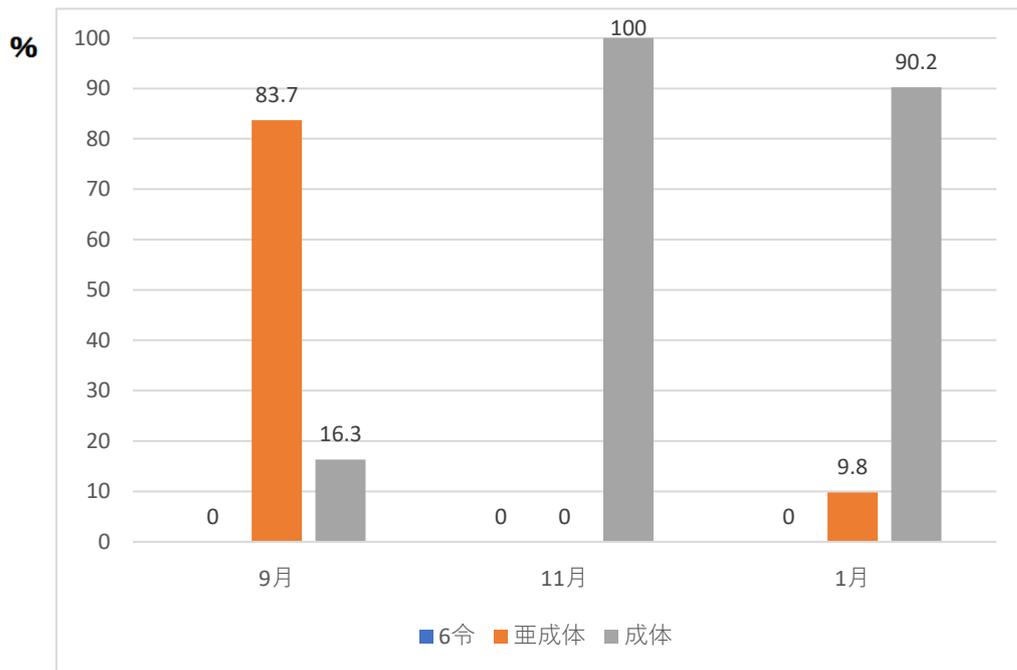
地点標 15 周辺



第2図 ヤンバルトサカヤスデ腐葉土内生息確認箇所率

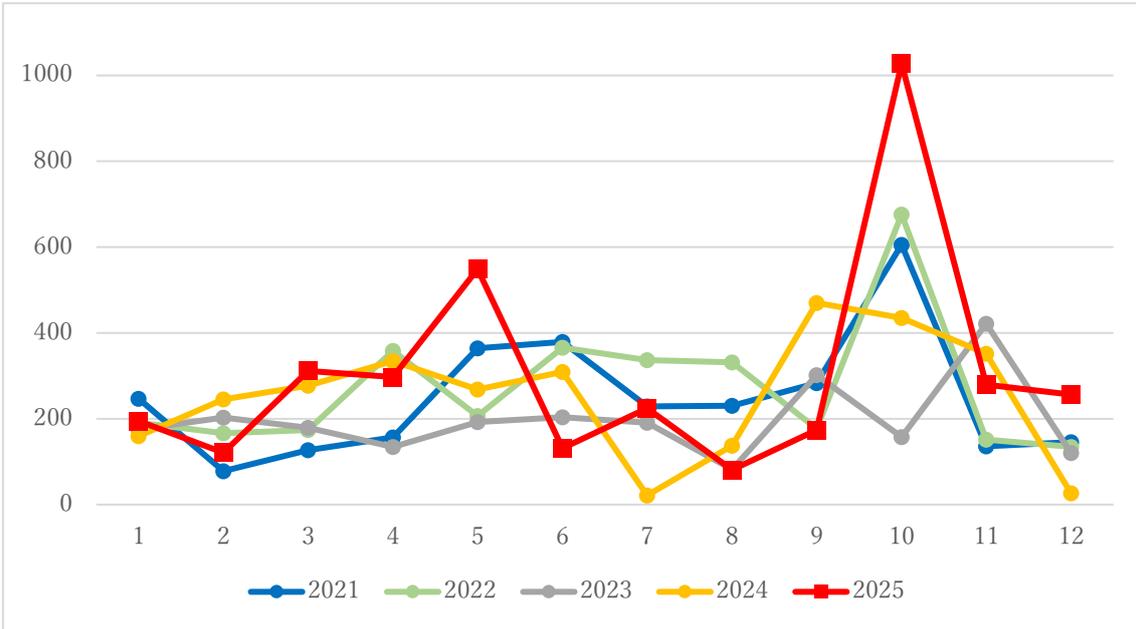


第3図 調査個体の月別齢構成



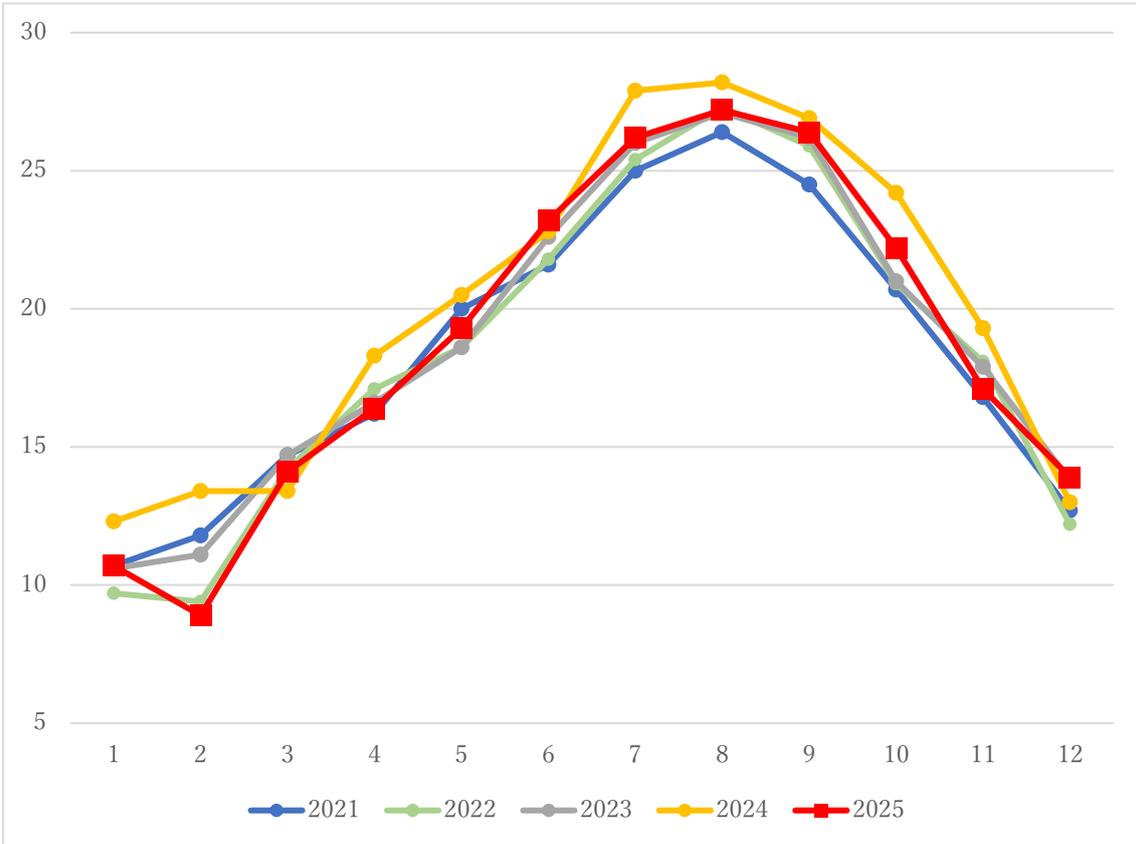
第4図 八丈町月別降水量(気象庁 HP より)

mm



第5図 八丈町月別平均気温(気象庁 HP より)

°C



第2表 (2025年9月17日～19日)

	調査地点	虫数3反復合計			1㎡当り総数	成体の割合 (%)	壁面観察数 (㎡当り)	評価	備考
		亜成体数	成体数	総数					
1	尾越の水くみ場	0	0	0	0		無		
2	郵便局前	0	0	0	0		無		
3	みはらしの湯	0	0	0	0		無		
4	角尻川の橋	0	0	0	0		無		
5	名古屋の展望台牛舎壁面	0	0	0	0		0	無	
6	末吉～中之郷境都道沿い	0	0	0	0		無		
7	しんのうやし雌雄原株周辺	0	0	0	0		無		
8	つつみポンプ小屋	0	0	0	0		無		
9	エコ・あぐりまーと	0	0	0	0		無		
10	裏見ヶ滝遊歩道	3	0	3	14	0		微	
11	ザブーン周辺	0	0	0	0		無		
12	ゴルフクラブ上	0	0	0	0		無		
13	乙千代ヶ浜手前	0	0	0	0		無		
14	樫立運動場	0	0	0	0		0	無	
15	圃伊玖磨別荘	0	0	0	0		無		
16	ふれあいの湯	0	0	0	0		無		
17	人捨て穴付近	0	0	0	0		無		
18	展望台	8	0	8	37	0	0	微	
19	為朝神社	0	0	0	0		無		
20	ふるさと村駐車場	0	0	0	0		無		
21	歴史民俗資料館裏							工事中	
22	ほたる水路周辺	5	0	5	23	0		微	
23	火葬場周辺	0	0	0	0		無		
24	サンマリーナ周辺	0	0	0	0		無		
25	水産試験場裏	0	0	0	0		無		
26	ファナック入り口周辺	0	0	0	0		無		
27	第一長の入橋周辺	0	0	0	0		無		
28	釣り場オアサネ入口	0	0	0	0		無		
29	釣り場赤崎入口	0	0	0	0		無		
30	三根永郷分団詰所入口	0	0	0	0		無		
31	八丈富士永郷線入口	0	0	0	0		無		
32	大越園地休憩舎	0	0	0	0		0	無	
33	ペンションタンポポ前	25	8	33	153	24	0	微	
34	もっくらんど前	0	0	0	0		無		
35	あしたば発祥園	0	0	0	0		無		
36	グリーンポスト付近	0	0	0	0		無		
37	車海老養殖場跡周辺	0	0	0	0		無		
	計	41	8	49	227	16.3	0		

調査方法

1 地点につき、スコップの面積 (24cm×30cmとする) 当たりの腐葉土の下にいる虫数を計数し、これを3反復行う。3反復分 (計0.216㎡当り) の虫数の合計数から1㎡当りの虫数を算出する。

発生程度

無 腐葉土での生育、集合のいずれも認められない。

微 腐葉土での個体数が200頭 (1㎡当たり) 以下で集合は認められない。

微～少 腐葉土での個体数が1,000頭 (1㎡当たり) 以下で集合は認められない。

少 腐葉土での個体数が1001頭 (1㎡当たり) 以上認められる。

あるいは集合が認められる (100頭以下)。

中 集合が101頭以上10,000頭以下認められる。

多 集合が10,001頭以上100,000頭以下認められる。

甚 集合が100,001頭以上認められる。

第3表 (2025年11月18日～20日)

	調査地点	虫数3反復合計			1㎡当り総数	成体の割合 (%)	壁面観察数 (㎡当り)	評価	備考
		亜成体数	成体数	総数					
1	尾越の水くみ場							台風の影響	
2	郵便局前							台風の影響	
3	みはらしの湯	0	2	2	9	100		微	
4	角尻川の橋	0	0	0	0			無	
5	名古の展望台牛舎壁面	0	3	3	14	100	0	微	
6	末吉～中之郷境都道沿い	0	0	0	0			無	
7	しんのうやし雌雄原株周辺	0	0	0	0			無	
8	つつみポンプ小屋	0	2	2	9	100		微	
9	エコ・あぐりまーと	0	2	2	9	100		微	
10	裏見ヶ滝遊歩道	0	3	3	14	100		微	
11	ザブーン周辺	0	1	1	5	100		微	
12	ゴルフクラブ上							台風の影響	
13	乙千代ヶ浜手前							台風の影響	
14	樫立運動場	0	0	0	0		0	無	
15	團伊玖磨別荘							台風の影響	
16	ふれあいの湯	0	37	37	171	100		微	
17	人捨て穴付近	0	1	1	5	100		微	
18	展望台	0	28	28	130	100	0	微	
19	為朝神社	0	14	14	65	100		微	
20	ふるさと村駐車場							台風の影響	
21	歴史民俗資料館裏							台風の影響	
22	ほたる水路周辺	0	2	2	9	100		微	
23	火葬場周辺	0	5	5	23	100		微	
24	サンマリーナ周辺							台風の影響	
25	水産試験場裏							台風の影響	
26	ファナック入り口周辺	0	0	0	0			無	
27	第一長の入橋周辺	0	0	0	0			無	
28	釣り場オアサネ入口	0	0	0	0			無	
29	釣り場赤崎入口	0	0	0	0			無	
30	三根永郷分団詰所入口	0	3	3	14	100		微	
31	八丈富士永郷線入口	0	0	0	0			無	
32	大越園地休憩舎	0	0	0	0		0	無	
33	ペンションタンポポ前	0	6	6	28	100	0	微	
34	もっくらんど前	0	0	0	0			無	
35	あしたば発祥園	0	0	0	0			無	
36	グリーンポスト付近	0	0	0	0			無	
37	車海老養殖場跡周辺	0	1	1	5	100		微	
	計	0	110	110	509	100.0	0		

調査方法

1 地点につき、スコップの面積 (24cm×30cmとする) 当たりの腐葉土の下にいる虫数を計数し、これを3反復行う。3反復分 (計0.216㎡当り) の虫数の合計数から1㎡当りの虫数を算出する。

発生程度

- 無 腐葉土での生育、集合のいずれも認められない。
- 微 腐葉土での個体数が200頭 (1㎡当たり) 以下で集合は認められない。
- 微～少 腐葉土での個体数が1,000頭 (1㎡当たり) 以下で集合は認められない。
- 少 腐葉土での個体数が1001頭 (1㎡当たり) 以上認められる。  
あるいは集合が認められる (100頭以下)。
- 中 集合が101頭以上10,000頭以下認められる。
- 多 集合が10,001頭以上100,000頭以下認められる。
- 甚 集合が100,001頭以上認められる。

第4表 (2026年1月20日～22日)

	調査地点	虫数3反復合計			1㎡当り総数	成体の割合 (%)	壁面観察数 (㎡当り)	評価	備考
		亜成体数	成体数	総数					
1	尾越の水くみ場								台風の影響
2	郵便局前								台風の影響
3	みはらしの湯付近(121-3)	0	12	12	56	100		微	
4	角尻川の橋	0	14	14	65	100		微	
5	名古屋の展望台牛舎壁面	0	3	3	14	100	0	微	
6	末吉～中之郷境都道沿い(18-3)	0	1	1	5	100		微	
7	しんのうやし雌雄原株周辺	0	4	4	19	100		微	
8	つつみポンプ小屋	0	11	11	51	100		微	
9	エコ・あぐりまーと	0	10	10	46	100		微	
10	裏見ヶ滝遊歩道	5	10	15	69	67		微	
11	ザブーン周辺	2	2	4	19	50		微	
12	ゴルフクラブ上								台風の影響
13	乙千代ヶ浜手前								台風の影響
14	樫立運動場	0	2	2	9	100	2	微	
15	團伊玖磨別荘	0	0	0	0			無	
16	ふれあいの湯	4	7	11	51	64		微	
17	人捨て穴付近	4	0	4	19	0		微	
18	展望台	0	12	12	56	100	0	微	
19	為朝神社	0	13	13	60	100		微	
20	ふるさと村駐車場	0	2	2	9	100		微	
21	歴史民俗資料館裏								工事中
22	ほたる水路周辺	0	5	5	23	100		微	
23	火葬場周辺	0	20	20	93	100		微	
24	サンマリーナ周辺								台風の影響
25	水産試験場裏								台風の影響
26	ファナック入り口周辺	0	0	0	0			無	
27	第一長の入橋周辺	0	0	0	0			無	
28	釣り場オアサネ入口	0	0	0	0			無	
29	釣り場赤崎入口	0	0	0	0			無	
30	三根永郷分団詰所入口	0	0	0	0			無	
31	八丈富士永郷線入口	0	0	0	0			無	
32	大越園地休憩舎	0	0	0	0		0	無	
33	ペンションタンポポ前	0	9	9	42	100	0	微	
34	もつくらんど前	0	0	0	0			無	
35	あしたば発祥園	0	0	0	0			無	
36	グリーンポスト付近	0	0	0	0			無	
37	車海老養殖場跡周辺	0	1	1	5	100		微	
	計	15	138	153	708	90.2	2		

調査方法

1地点につき、スコップの面積(24cm×30cmとする)当たりの腐葉土の下にいる虫数を計数し、これを3反復行う。3反復分(計0.216㎡当り)の虫数の合計数から1㎡当りの虫数を算出する。

発生程度

無 腐葉土での生育、集合のいずれも認められない。

微 腐葉土での個体数が200頭(1㎡当たり)以下で集合は認められない。

微～少 腐葉土での個体数が1,000頭(1㎡当たり)以下で集合は認められない。

少 腐葉土での個体数が1001頭(1㎡当たり)以上認められる。

あるいは集合が認められる(100頭以下)。

中 集合が101頭以上10,000頭以下認められる。

多 集合が10,001頭以上100,000頭以下認められる。

甚 集合が100,001頭以上認められる。